

# 北海道PCB廃棄物処理事業 監視円卓会議だより

平成23年4月  
第22号

北海道及び室蘭市では、日本環境安全事業(株)(JESCO)が室蘭市仲町で操業を行っている北海道PCB廃棄物処理事業が安全、確実かつ適正に行われるよう、処理施設の整備や操業、情報公開等に関する事項を監視する『北海道PCB廃棄物処理事業監視円卓会議』を設置しています。

今回は、3月28日に開催された第22回監視円卓会議の内容を中心に、施設の稼働状況、事業の経過や増設事業の安全設計の概要などについて、お知らせします。

## ● 北海道PCB廃棄物処理事業監視円卓会議（第22回）について

平成23年3月28日(月)午後2時より、PCB処理情報センター(室蘭市御崎町1-9)において、第22回監視円卓会議を開催しました。

会議には、学識経験者2名、団体委員4名、公募委員3名の計9名の委員のほか、オブザーバーとして、環境省、登別市、JESCOなど関係者が出席し、トラブル事象発生時の対応や事業の進捗状況、増設事業などの報告、説明を行い、それらに関する意見交換が行われました。

### 【会議の概要】

#### 〈 議 事 〉

#### 1 第21回監視円卓会議議事録について

平成22年12月22日に開催された第21回監視円卓会議の議事録が承認されました。

#### 2 北海道事業の進捗状況等について

JESCOから、施設稼働状況、トラブル事象及びその対策、運転会社における新人教育等の説明があり、また東北地方太平洋沖地震の対応状況の報告がありました。

#### 3 環境モニタリング測定結果などについて

事務局から、環境モニタリング測定結果の報告があり、あわせて北海道及び室蘭市による立入検査の実施状況の報告がありました。

#### 4 増設事業について

JESCOから、増設事業の経過、処理施設の安全設計の概要などの説明がありました。

## ● 主な報告事項の内容

### ■ 東北地方太平洋沖地震の対応状況について

北海道事業所の施設では、地震対策として3台の地震計が設置されており、いずれか1台が震度4相当(40ガル)を検知すると警報が発生し、またいずれか2台が震度5弱相当(120ガル)を検知すると施設が緊急自動停止する仕組みになっています。

3月11日発生地震では、地震計による警報や緊急自動停止はありませんでしたが、地震発生後、中央制御室から各作業員へ施設の点検が指示され、また、北海道事業所内に対策本部が設置され、施設の停止操作など、必要な措置が講じられました。

現場の総点検の結果、被害はなく、異常も認められないことから、その日のうちに対策本部を解散し、順次動作確認を行い、16日までに処理物の受入をはじめすべてのラインでの処理が再開されました。

## ■ 処理の進捗状況について

これまでの処理台数は、次のとおりです。

トランス類		コンデンサ類	
登録数	処理台数(%)	登録数	処理台数(%)
4,175	1,115(26.7%)	52,514	13,408(25.5%)

注) 登録数：平成22年3月31日現在。処理台数：2月末までの台数で、試運転物を含む抜油ベース

## ■ トラブル事象について

前回会議以降、今回の会議までに次の6件のトラブル事象が発生しました。いずれも、環境への特段の影響はありませんでしたが、環境保全上の留意が必要な事象などが該当する区分Ⅳでした。

また、昨年12月1日から本年2月末日までの不具合事象(部品交換を伴う事象及び復旧作業に伴い数日程度設備が停止した事象)は23件、不具合事象未満(一過性の事象及び設備の停止が1日程度若しくは無かった事象)は19件でした。

発生日	概要等
H22.12.19	<p><b>車載トランス抜油・予備洗浄装置における作動油の漏洩</b>            【概要・原因】車載トランス抜油・予備洗浄装置の揺動装置において、揺動テーブルとテーブル下部の配管とが繰り返し接触したことにより、配管溶接部に亀裂が生じ、作動油0.6Lが床面に漏洩。回収油のPCB濃度は14.5mg/kg。            【対策】揺動テーブルのストッパー土台にスペーサーを挿入すること及び配管を耐圧ホースに変更することにより接触を回避。</p>
H22.12.29	<p><b>大型トランス開梱室検査デッキにおける作動油の漏洩</b>            【概要・原因】検査デッキの油圧ユニットの作動油供給配管継手のボルトが緩んでいたため、作動油500ccが床面(1m×0.5mの範囲)に漏洩。漏洩液のPCB濃度は29mg/kg。            【対策】検査デッキは不使用であるため、作動油の抜き取りを実施。水平展開として施設内の他の油圧ユニット全数の動作確認及びボルトの緩みの点検を2月の定期点検時に実施。</p>
H23. 1.26	<p><b>車載トランス傾転装置におけるドレン液の漏洩</b>            【概要・原因】装置のドレンラインのカプラの劣化及びカプラへのホースの未接続により、カプラ部が腐食し、カプラから床にドレン液が約300cc漏洩。            【対策】カプラを交換し、カプラにドレンラインとしてフレキシブルホースを接続し、またドレンの残液回収を真空引きに変更。</p>
H23 .2. 4	<p><b>車載トランスコア解体装置における作動油の漏洩</b>            【概要・原因】解体装置の油圧ユニットの油圧配管内の圧力計が破損したため、破損箇所からオイルパンへ作動油が流出し、さらに床面に約17.5Lが漏洩。床面の漏洩液のPCB濃度は13.9mg/kg。            【対策】使用していない圧力計については取り外し閉止弁を取り付け、使用中のものについては元弁の取付けを実施。</p>
H23. 2. 7	<p><b>車載トランス予備洗浄端切液運搬中の漏洩</b>            【概要・原因】予備洗浄液のサンプリングをする際、配管内残液を排液したもの(端切液)を蓋のないペール缶で運搬中、作業員が段差につまずきペール缶内の端切液を漏洩させたもの。漏洩時の作業環境濃度は2.88 μg/m<sup>3</sup>Nと特段の上昇は見られなかった。            【対策】つまずいたところに段差解消のための踏み板を設置するとともに、運搬時に用いる容器を密閉式のものに変更。また、水平展開として、施設内での液の運搬作業について必要な作業要領書の改訂を実施。</p>
H23. 2.16	<p><b>圧力計元弁取付工事中的作動油の漏洩</b>            【概要・原因】作業員同士及び中央制御室操作員との連絡ミスにより、油圧ユニットの圧力計交換作業の終了を確認しないまま、油圧ユニットを作動させたため、圧力計を取り外した箇所から作動油が約240cc漏洩。油圧ユニット内の作動油のPCB濃度は27.4mg/kg。            【対策】作業前の関係者間の事前打合わせ、連絡方法の徹底。操作禁止箇所での「操作禁止札」による明示。</p>

## ■ 増設事業について

JESCO から安全設計の概要などについて、次の事項の説明がありました。

### 1 基本概念

多重防護構造（セーフティネット（影響を最小限に抑える措置）、フェイルセーフ（異常時の安全対策）、操業監視システム、プロセス安全設計）の構築による旨の説明がありました。

### 2 地震対策

耐震設計として、大地震時の液状化を考慮した基礎を、横揺れに対しては耐震性の優れた杭を採用し、建屋の構造は、法令に定められている値を遵守するものとする旨の説明がありました。

また、操業時の対策として、現在の施設と同じく3台の感震計により、いずれか1台が震度4相当（40ガル）を検知すると警報が発生し、またいずれか2台が震度5弱相当（120ガル）を検知すると施設が緊急自動停止する仕組みとし、設定震度以下でもその大小にかかわらず、直ちに現場を確認し、安全を確保する旨の説明がありました。

### 3 浸水対策

施設の浸水対策として、1階の床面を室蘭港で観測されたこれまでの最高潮位の+3.82m高い位置にする旨の説明がありました。

### 4 漏洩対策等

防液堤や不浸透性塗床などによる地下浸透の防止、施設内を負圧で管理することによる施設外への排気の流出防止、活性炭吸着塔を二重に設置するなどによる多段の排気処理施設の設置、排気・排水の常時又は定期モニタリングの実施などにより、環境保全対策を十分に講じた安全・安心な施設、体制とする旨の説明がありました。

## ● 委員からの主な質問と意見

### 【東北地方太平洋沖地震関係】

#### （質問）副委員長

被害地域のPCB廃棄物の処理について、今後どのように対応する予定か。また被災地の保管事業者の中には、PCB廃棄物の処理を行いにくい状況にあるなか、処理料金の減免などへの考えはどうか。

#### （回答）JESCO

各県での被災状況の確認のため、JESCOへのPCB廃棄物の登録情報を環境省に提供しているところです。

#### （回答）環境省

基本的には産業廃棄物なので保管事業者による処理が原則と考えているが、保管事業者が分からなくなっているものなども想定される。現状把握の結果を踏まえて適切に対応したい。

### 【トラブル事象関係】

#### （意見）委員長

水平展開が必ずしも適切に行われていない印象があるので、日常業務の中でしっかりと対応していただきたい。また、トラブル事象が多くなっているため、気をつけて運転してほしい。

#### （意見）委員

トラブル事象が多すぎるので、安全面での総点検を実施すべきではないか。

### 【増設事業関係】

#### （質問）委員

当初施設における経験の反映において、安全（漏洩）対策の状況はいつの時点で確認を行うのか。また、プロセス全体の妥当性確認は、どのように行うのか。

#### （回答）JESCO

安全（漏洩）対策は、施工時や試運転時に行う予定です。また、プロセス全体の妥当性確認については、ISOに準じて行う予定です。

#### （質問）委員長・委員

東日本大震災における福島原発での事故でも見られるように風評被害が心配である。風評被害対策についての考えをまとめて、次回の監視円卓会議で見解を出していただきたい。

#### （意見）委員

東日本大震災による被害に関連して、増設施設は本当に大丈夫なのか本当に心配である。

#### （意見）委員

海水面は上昇傾向となっており、これまでの考え方では駄目だと思うので、何かがあった時に大惨事とならないよう慎重を期してほしい。

## ● その他

### ■ 北海道PCB廃棄物処理事業報告会について

3月30日（水）午後6時30分から室蘭市市民会館において、住民の皆さんにPCB廃棄物処理事業の国内の状況や北海道事業所での処理状況、環境モニタリングの結果などを知っていただくための報告会が開催され、次の事項について、環境省、JESCO、北海道立総合研究機構環境科学研究センターから以下の説明・報告の後、質疑応答がありました。

- ・国内のPCB廃棄物処理について（環境省）
- ・北海道PCB廃棄物処理事業について（JESCO）
- ・北海道PCB廃棄物処理施設設置工事（増設）について（JESCO）
- ・北海道PCB廃棄物処理事業環境モニタリング概要と結果について（環境科学研究センター）

なお、報告及び質疑応答の概要については、北海道及び室蘭市のホームページに掲載しておりますので、是非ご覧ください。



（事業報告会風景）

### ■ 委員の任期満了について

監視円卓会議では、学識経験者及び各種団体のほか、広く道民の皆様の参加をいただくことを目的として公募委員の制度を設けています。任期は2年となっており、本年3月31日で任期が終了したことから、新たな委員の公募を行い、選考委員会による審査の結果、5名の方が選考されました。次の円卓会議日より、新委員の方々を紹介します。

#### ◆PCB廃棄物処理事業に関するお問い合わせ

日本環境安全事業株式会社 北海道事業所 〒050-0087 室蘭市仲町 14 番地 7  
TEL：0143-22-3111 FAX：0143-22-3001  
ホームページ：http://www.jesconet.co.jp/



#### ◆PCB廃棄物処理事業監視円卓会議に関するお問い合わせ

北海道環境生活部環境局循環型社会推進課 〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目 緑の大地  
TEL：011-231-4111(内 24-323) FAX：011-232-4970  
E-mail：kansei.kanhai1@pref.hokkaido.lg.jp  
ホームページ：http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/jss/index.htm



室蘭市生活環境部環境課 〒051-0001 室蘭市御崎町 1 丁目 75 番 7 号  
TEL：0143-22-1481 FAX：0143-22-7148  
E-mail：kankyuu@city.muroran.lg.jp  
ホームページ：http://www.city.muroran.lg.jp/main/org3300.html



※「円卓会議だより」や円卓会議の会議資料は、北海道及び室蘭市のホームページでご覧いただけます。また、この「円卓会議だより」は、室蘭市の各サービスセンターでも配布しております。